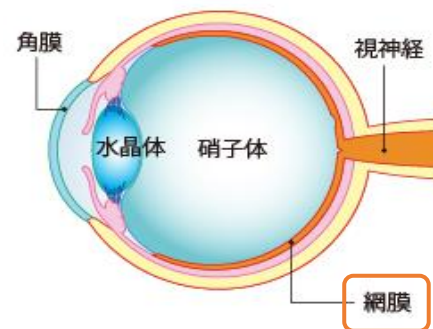


糖尿病網膜症

糖尿病網膜症とは、血糖値が高い状態が続くことで起こる目の合併症です。

網膜は目の奥にある薄い膜で、たくさんの神経や細い血管があり、血管が傷ついたり詰まったりしやすくなります。



網膜症には 3つのステージがあります。

単純網膜症

自覚症状なし

増殖前網膜症

ほとんど自覚症状なし

増殖網膜症

急激な視力低下・失明

進行

失明直前まで視力低下を自覚できない場合もあります！

糖尿病網膜症は、眼科医による精密な検査・診察が重要です。

健診では網膜の一部しか検査できない場合もあります。

～眼科受診の頻度の目安～

網膜症なし	——	6～12ヶ月に1回
単純網膜症	——	3～6ヶ月に1回
増殖前網膜症	——	1～2ヶ月に1回
増殖網膜症	——	2週間～1ヶ月に1回



《糖尿病眼手帳》

検査結果や治療内容を記載でき、医師同士の連絡に役立ちます。網膜症の状態により糖尿病の治療方針が変わることもあるので、通院時には携帯してください。

